

## 第1回（仮称）愛知県海岸保全基本計画検討委員会準備会（技術部会） 議事要旨

日 時：令和5年2月22日（水）  
10時00分～12時00分  
場 所：KDX名古屋日銀前ビル  
（WEB併用）

### 1. 次第

1. 開会
2. 事務局挨拶
3. 委員、オブザーバー紹介
4. 愛知県海岸保全基本計画検討委員会準備会（技術部会）の設置について・規約案について
5. 愛知県海岸保全基本計画検討委員会準備会（議題）
  - ・海岸保全基本計画について
  - ・今回、計画変更が必要となった経緯
  - ・実施体制及びスケジュール（案）
  - ・現行計画の防護目標
  - ・気候変動の影響を踏まえた技術的検討を進めるにあたり
3. 閉会

### 2. 配布資料

- ・資料1：愛知県海岸保全基本計画検討委員会準備会（技術部会）規約（案）
- ・資料2：愛知県海岸保全基本計画検討委員会準備会（技術部会）  
第1回準備会（技術部会）資料
- ・資料3：参考資料

### 3. 質疑応答

#### ■今回、計画変更が必要となった経緯

##### 【委員】

P10の4項目については、気候変動の長期的な傾向を将来の見通しを勘案して設定するというのは、RCP2.6シナリオから得られる結果を何らかの形で勘案して取り入れられていくという理解でよいか。

##### 【事務局】

その理解で良い。

#### ■現計画の防護目標

##### 【委員】

P31、32の津波防護は現時点で考えないとのことだが、これまで津波が卓越している箇所が、高潮の気候変動の影響を考慮することにより、高潮が卓越する可能性がある。

##### 【委員】

今後の検討ということで良いか。

##### 【事務局】

遠州灘沿岸や半島先端は津波、他の地域は高潮で施設の高さが決まっている。今回、まずは高潮について検討を進め、今後津波の検討も進めていく。両外力の値を比較しながら検討を進

めていく。

【委員】

P28 の現計画の波浪は、出力点が沖波の波高と比べて水深が浅い印象があり、気候変動の影響を考慮しても、あまり変わらない結果になる可能性がある。

現計画の波浪の設定で、緩勾配なので、水深 20m～30m にすると沖合になるため 15m で設定した等経緯がわかれば教えてもらいたい。

【事務局】

現時点では経緯はわからないので、今後調べる。

【委員】

算定位置を現行計画より深くすることも可能か。

【事務局】

可能である。

【委員】

P34 の侵食防止目標に記載してある、現状汀線の保持・保全は、観測データの保管があるという理解で良いか。

【事務局】

全県的にはやっていない。毎月巡視をしているので海浜状況の把握は行っている。

【委員】

波の遡上計算では汀線位置が大きく影響するため確認した。

【委員】

県は、定期的に航空写真撮影を実施していたと認識している。現在でも撮影しているか。

【事務局】

遠州灘は毎年航空写真を撮影している。

【委員】

航空写真撮影は継続していることについては承知した。

【委員】

大学が取得しているデータがあり、これらは無料で使えるものも多いと思うので、必要に応じて活用していただきたい。

【事務局】

様々なデータを集めて検討していきたい。

## ■気候変動を踏まえた技術的検討を進めるにあたり

【委員】

1 つ目の意見は、朔望平均満潮位で P49 の三河港のように現設定値と観測値に差がある箇所は、観測データの妥当性、設定当時の考え方を確認すると良い。

2 つ目の意見は、将来予測手法について、大まかなスキームは了解した。P51 からの高潮推算で伊勢湾台風の再現確率を把握しておくことが望ましい。また、想定台風がアンサンブルデータの幅の中にあるかを確認しておくこと。

## ■台風モデルについて

【委員】

P52 の A-1 パラメトリック台風モデルで推算した高潮の潮位がどの程度の確率規模になっているかを B-1 などの他のモデルで確認をするという理解で良いか。

【事務局】

様々なデータを活用し、A-1 パラメトリック台風で推算した外力の妥当性の確認できればと

考えている。

**【委員】**

今回は中心気圧の低下量だけのもので、経路、移動速度は手引に沿った実績タイプと同様という考えで良いか。

**【事務局】**

その考えで良い。

**【委員】**

台風半径がそのままが良いかが気になる場所である。

**【事務局】**

それについても、今後検討していく。

## ■初期潮位の設定

**【委員】**

P45 からの初期潮位の設定で、近年の潮位上昇傾向の現象を黒潮の蛇行と関連づける場合、湾奥よりも外洋で比較しなければならないと考えている。これをどう考えるかによって、将来予測に影響すると思われる。

**【事務局】**

近年の潮位上昇への影響は不明である。

**【委員】**

近年の潮位上昇を現行計画の妥当性の確認に含めるのか。含めないのか。

**【事務局】**

近年の潮位上昇は考慮せず現行計画の妥当性はあると捉えている。ただし、三河港についてはそれ以前から差があるので検討を継続していく。

**【委員】**

P48 の鬼崎観測所の上昇傾向は、空港島の影響はないか。潮汐変動という流れで出てくる偏差のため、空港島により狭くなったところに流れが集中して潮位が上がっているという影響が仮にあるとすれば、今後も高めの値の観測が続く可能性があるので、念のため確認していただければと思う。

**【事務局】**

確認する。

## ■海面上昇量について

**【委員】**

海面上昇量 43cm を設定しているのは、どこの機関でどのような設定根拠になっているのか。県内の各機関では設定値を統一しなければならないと思う。

**【事務局】**

国の直轄河川の河川整備基本方針の検討値として設定しており、根拠については確認する。

**【委員】**

39cm を用いることで大きな支障はないと考えでよいか。

**【委員】**

設定根拠を明確しておく必要があると考える。

**【委員】**

39cm の妥当性を見る上では、近年のトレンドが 39cm を上回るような傾向がないかを確認しておくことが大事。

**【オブザーバー】**

関東地整でおこなっている河川整備基本方針の検討で 43cm を用いている。設定に至った経緯を確認する。

## ■波浪予測について

### 【委員】

P57 の波浪の予測で、観測点が少ないので静岡の竜洋を使うとのことだが、水深が 40m 程度で愛知県の表浜と波浪特性が異なる可能性があることに留意が必要かもしれない。

### 【事務局】

取り扱いは承知した。

### 【委員】

P60 について d2、d4 の過去実験が 2011 年までの条件で得られている。2010 年以降で波浪の状況が変わっていると、気候変動の影響を受けて上がっているところに、さらに気候変動の増分が乗る形になる恐れがある。

気候変動による増減を乗せる波浪は、長期的な変化があるかないかを確認した上で判断したほうがいい。

### 【事務局】

確認の上で検討する。

## ■既存計画との整合

### 【オブザーバー】

P25 について、名古屋港の高潮防波堤の内側の潮位偏差は協議会で設定したものより高潮防波堤の効果を考慮し 50cm 下げている。必ずしも技術上の基準に合致していなければ駄目ということではないという認識でよいか。

### 【事務局】

基本は技術上の基準に従うが、既存計画との整合性にも配慮しながら議論していく。

以上